

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



〇概況

- ◆ 政策金利を0.5%引き下げ、誘導水準を1.00～1.25%とした（全員一致）
- ◆ 米経済のファンダメンタルズは良好であるが、新型コロナウイルスがもたらす不確実性に対応
- ◆ 新型コロナウイルスへの対応として金融政策の効果には限界がある。

✓ FRBは3/3に緊急のFOMC（連邦公開市場委員会）を開催し、**政策金利を0.50%引き下げ、誘導水準を1.00～1.25%とした（全員一致）**。利下げは昨年10月以来、緊急利下げはリーマンショックのあった2008年10月以来のこと。

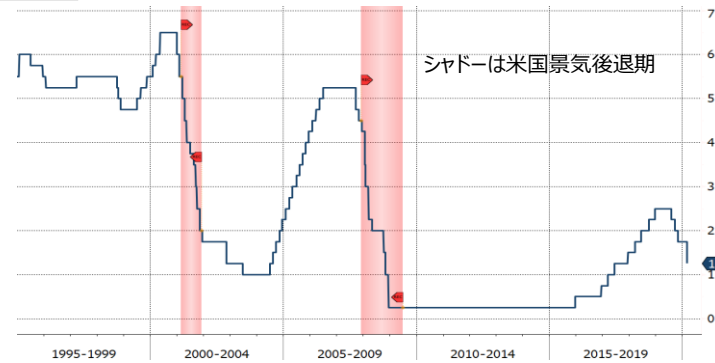
✓ **声明文では、米国経済のファンダメンタルズは依然底堅いものの、コロナウイルスにより景気へのリスクが浮上したことを利下げの背景として挙げた。**パウエルFRB議長記者会見でも、米国経済への影響は現状、観光等一部産業にとどまっているものの、不確実性が高まっていることに対応した利下げであることを強調している。

✓ FOMCに先立って開催されたG7の緊急電話会議では新型コロナウイルスへの対応として、「強固で持続可能な成長を実現するために、また下方リスクから守るために、全ての適切な政策手段を用いる」ことを確認した。**いわゆる協調利下げといった形ではなく、各国ができる範囲で対応するスタンス。**日本銀行やECBはマイナス金利の深掘りに限界があり、利下げは見送りと予想。日銀については流動性供給やETFの買入れ額の増額が中心となるとみる。

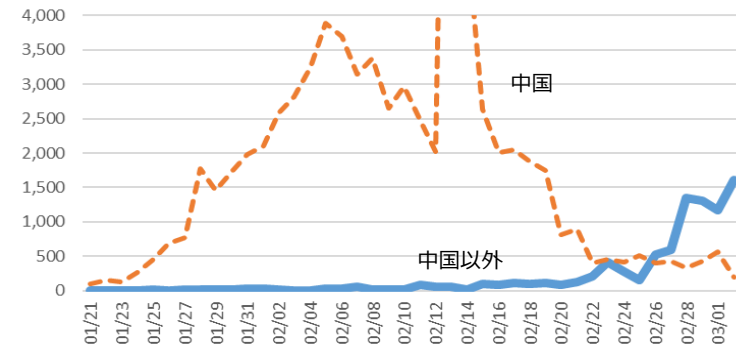
✓ FRBによる積極的な緩和スタンスは金融市場に一定の安心感となるが、**新型コロナウイルスへの対応として金融政策の効果には限界がある。**昨日の米国金融市場は米国株が急落し、米国10年金利が史上最低の1%の節目に達した。金融市場は世界的な感染の広がりといったある程度の悲観論を織り込み、**目先は感染者拡大動向、VIX(米国株の変動率指数)の落ち着きどころを見極める局面となろう。**

米国政策金利

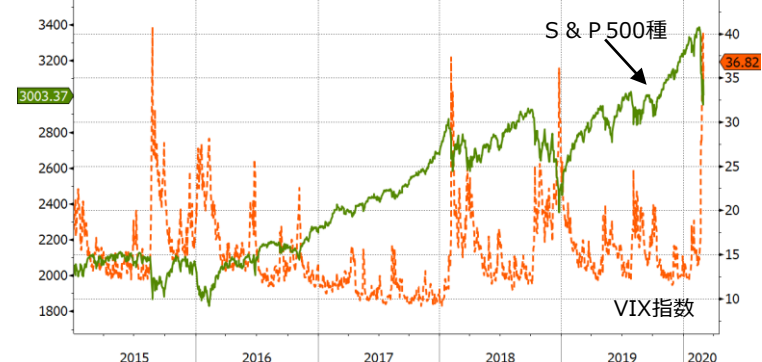
【出所】FOMC、bloomberg



新型コロナウイルス感染者数（前日差、人）



米国株式市場とVIX指数



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。